

氏名	岡野和雄		
学位(専攻分野)	博士(医学)		
学位授与番号	博乙第2524号		
学位授与の日付	平成4年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)		
学位論文題目	メシル酸ナファモスタットとセファランチンの併用による小口径 静脈再建後早期における抗血栓作用に関する実験的研究		
論文審査委員	教授 折田 薫三	教授 古元 嘉昭	教授 佐伯 清美

学位論文内容の要旨

雑種成犬の外頸静脈に小口径ダクロン人工血管を置換し血行再建後早期におけるメシル酸ナファモスタットとセファランチンの併用による抗血栓効果をヘパリンおよびウロキナーゼと比較検討した結果、以下の結論を得た。

1. ヘパリンおよびウロキナーゼの投与は血液凝固機能の変動ならびに出血傾向の憎悪をきたした。
2. ウロキナーゼの投与は凝固活性を亢進し血栓形成を抑制しなかった。
3. メシル酸ナファモスタットとセファランチンの併用により血栓形成は抑制され血液凝固機能の変動も軽度であった。

以上より小口径人工血管再建後早期の抗血栓療法としてメシル酸ナファモスタットとセファランチンの併用療法は有効であり臨床的に有望である可能性があると考えられた。

論文審査の結果の要旨

小口径人工血管による末梢静脈の再建は、早期血栓形成のため、現在でも困難な手術である。本研究者は、成犬の外頸静脈1.5cm長切除し、3cm×5mmのダクロン人工血管で置換し、各種抗凝固剤を投与比較している。メシル酸ナファモスタット(FUT)とcephalanthinの3時間併用持続投与により、conventionalなheparin投与にも優る開存率を得、人工血管の走査電顕にても血球成分の付着をみていない。併せて併用の機作を考察

している。この2剤の投与量は臨床にも応用可能であり、その意義は大きく本研究者は博士（医学）の学位を得る資格ありと認める。